



# 「ささえ～る」

広報委員会

※『ささえ～る』とは、「佐々木」・「ささえる」・「エールを送る」の意味を込めた造語です。

作業療法  
作品展



佐  
々  
木  
病  
院



**フィールド ラベンダー**

みんなが集うフィールド

お知らせ  
□今月のお知らせは、こちら

EMONYO INFORMATION

グループホーム 介護センター 訪問看護事業 施設のご紹介



理事長・院長

菊野恒明

明けましておめでとうございます。私たち佐々木病院も患者様とともに、つつがなく新年を迎えることができました。昨年の佐々木病院は、オーダリング・システムの導入、中村主計先生の着任。そして院外薬局の開始と、大きな変化がありました。

これらの変化が今年が良い方向に向かって展開し、より良い果実を生んでくれればと思います。私は相変わらず、座右の銘の「水到

渠成」(水到りて渠成る)をつぶやきながら、院内を歩きまわる日々を過ごすことになりそうです。

皆様方のご健康とご多幸を念じつつ、ご挨拶と致します。



## 【特集】 ラベンダー・ラベンダー

皆様こんにちは、フィールド・ラベンダーです。私たちは、支援センター・指定相談支援事業・就労支援事業・グループホームの事業を行っています。地域で暮らすひとりひとりが安心して自分らしい生活を送られるように支援し、当施設が集いの場・癒しの場となるよう、そして、本人さんだけでなく、ご家族、関係機関、



地域の方々の思いに寄り添い共に歩んでいけるように・・・という思いで日々活動しております。また、地域移行支援事業

(長い間入院が続いていた方々に対しても、それぞれの希望にそった地域生活ができるようにお手伝いする事業)も行い、佐々木病院をはじめとする医療機関との連携を図りながら活動しております。各々の事業や活動に少しでも興味や関心をお持ちになりましたら、遠慮なく、気軽にお尋ねください。みなさまのご来所を心よりお待ちしております。

最後になりましたが、平成25年12月よりフィールド・ラベンダー施設長に就任致しました蓬澤(よもぎざわ)です。10数年に亘り佐々木病院で精神保健福祉士として勤務しており

ましたが、その経験を活かし、皆様の思いに応えられるよう、そしてラベンダーの花言葉“ここをいやすパートナー”となれるよう、スタッフと共に頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



施設長 蓬澤



インフォメーションは、フィールドラベンダーのホームページからダウンロードできます。

[http:// www.field-lavender.net/](http://www.field-lavender.net/)

## 部 署 紹 介

### 西2階病棟

西2階病棟は男性の急性期に対応する病棟です。入院の初期は様々な辛い症状によって、今までの日常生活・社会生活を送ることが困難な状態になることが多くあります。



例えば睡眠が十分に取れなかったり、食事や排せつに支障をきたしたり、入浴や整容など清潔が保てなくなったりします。また自分の意見を上手く伝えられなかったり、人と話すことが苦手になったり…。これはとても辛く、苦しく、不安

だと思っております。

病棟担当医の川村副院長をはじめ、15名の看護スタッフは、その苦しみや心の痛みを、患者様の視点にたってケアすることを目指しています。

経験豊かで何でも相談できる看護師、やさしい口調で親身に対話する看護師、女性らしい心配りで身の回りのことを丁寧にお世話する看護師、入院生活を細かい気配りでサポートする看護補助。私たち西2階スタッフは、患者様が1日



も早くその人らしい生活に戻れるように願い、誰もが日々真剣に向き合っています。

看護師長 毛利

## 新入職員インタビュー

大畑さん（看護師）

- ① とにかく女性職員が元気でパワフル。明るく活気のある職場だと感じました。
- ② 旅行、アウトドア系
- ③ 一日も早くチームの一員としての役割を果たせるよう、努力していきたいと思います。

平岩さん（看護師）

- ① 歴史ある病院であると感じました。（年表より）
- ② 趣味は一筋ではないですが、映画鑑賞、スポーツ、パン作りです。しかし、深く入り込むタイプではないです。
- ③ 患者様に対し、人間的尊厳をもって、患者様の気持ちに寄りそった看護ができるよう援助したいと思っています。

- ① 佐々木病院の印象は？
- ② 趣味は
- ③ 今後の抱負を一言で！



金山さん（看護補助者）

- ① スタッフ、患者様の皆様、感性が強く、明るい病院だと思います。
- ② 娘とのカラオケ
- ③ 仕事を覚え、早く、患者様の気持ちに応えられるように頑張ります。

有原さん（看護補助者）

- ① アットホームな雰囲気。明るい職員方と元気な挨拶。
- ② マラソン、登山
- ③ まずはしっかり仕事を覚えて、勉強しながら患者様と信頼関係を作っていきたい。

## 院内研修報告

平成25年12月18日、院内研修で薬物療法「統合失調症の治療」をテーマに、当院副院長川村先生に講義していただきました。

講義の内容は、統合失調症治療の変遷、作用機序、第二世代、第三世代抗精神病薬と受容体親和性との関係などを中心に大変興味深く学ぶことができました。当院の治療現場でも患者様の意思を確認し、本人の選択を最優先にしながら治療が行われています。私たち医療者は薬物治療についての専門的知識を更に深め、科学的根拠に基づいて情報提供できるよう、日々研鑽する必要があります。

また、社会復帰には心理的アプローチが重要であると話されました。現場においても、楽しく治療を学べるプログラムを更に充実させていこうと思います。

私たち医療者と患者様が協働して、より良い治療が継続でき、より良い生活を送ることができるよう働きかけていくことが大切だと改めて考える良い機会でした。



教育研修委員会 藤井



## お薬の受け渡しについてのご案内

平成25年12月1日より、外来において「処方せん」の発行をいたします。

国が「医薬分業」制度を推進しており、当院では患者様の利点も考慮し「医薬分業」を実施することになりました。

今後、外来では、医師が治療に必要なお薬を「処方せん」で指示し、保険薬局で薬剤師が医師の指示通りのお薬を患者様にお渡しすることになります。

皆様の、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

◆処方せんの有効期限は **4日間** です。  
(土曜、日曜、祝祭日も4日の中に含まれます。)

※紛失されないようご注意ください。

ご不明な点がございましたら、  
外来受付までお問い合わせください。



## 救急研修会（その2）

去る1月18日、当院にて「心肺蘇生、AED使用方法の実習講習」が富山市消防局救急救命士岡田様を講師にお迎えして行われました。まず始めに、「皆さんは何のためにこの講習を受けに来ましたか？」と問われました。ドキッと一言でした。目的を持って臨むのと、そうでないとでは大きな違いがあることとの事でした。一瞬にして場の空気が引き締まりました。

そんな緊張感の中はじまった講習ですが、内容は初心者にも分かりやすくとても丁寧なものでした。講師の普段の仕事に対する真摯な姿勢までも伝わってくるようでした。実際、第一線で働いておられ、質問に対して具体的な、的確な答えが返って来ました。



前日、1月17日は、阪神淡路大震災から19年目の日でした。新聞の記事が随分小さくなったと感じていました。そんな日に受けた救命救急の講義。人の命の大切さを改めて考える良い機会となりました。

精神保健福祉士 宮崎

## 労働安全委員会

病院においては、様々な職種の方が働き、その雇用形態も多様で感染やシフトワークに伴う健康障害など労働安全衛生は非常に重要な位置づけとなってきています。労働災害防止のためには、病院一丸となって取り組む事が重要になってきており、当院でもトップが率先して定期的に職場巡視を行い従業員の意識向上に努めています。

今後の目標としては良好な人間環境を構築して、良い職場環境づくり、仕事をスムーズに行うために積極的に声掛けが出来る職場、風通しの良い職場を目指しコミュニケーションに力を入れて行きたいと考えています。ある意味、安全はコミュニケーションからだと思っていますからです。

労働災害が起こった後に「きちんと対策しておけば良かった」と思っても遅いのです。病院全体が安全衛生管理の必要性を認識できるよう、活動を推進していきたいと思えます。労働安全委員浦上

## 編集後記

「ささえ〜」も早いもので、今回で第7号を発行することとなりました。今年12月、佐々木病院は開設45周年を迎えます。45年を迎えるにあたり、「ささえ〜」の特別号を企画しております。皆様に支えられながら歩んできた佐々木病院を振り返りながら、そして、新たな佐々木病院を知って頂けるようなものにしたいと企画を練っております。今後とも、よろしくお願ひいたします。

広報委員会 吉田

## 職員旅行報告

少し遅くなりましたが、晩秋に、毎年恒例の職員旅行へ行ってきました。

今回も日帰りと宿泊の各2班に分かれての企画で、日帰り班は飛騨高山方面。宿泊班は浅草築地、お台場方面となりました。



それにしても、遅ればせながらようやく東京スカイツリーに登ることが出来ました。想像を軽く超えて高すぎでした。世界2位っていうの

も伊達じゃなかったですね。やや天候に恵まれなかったものの、大都会を見下ろすその絶景は、一度は味わっておくべきだと思いました。

当院お約束？夜の宴会については割愛させていただきますが、職員の親睦を深められたのではないかと思います。

今年の行き先は未定ですが、今回も、行けそうでなかなか行けないような、そんなところへ行き、親睦を深め協働してより良い仕事につなげてまいります。看護師福井



## 医療法人社団 重仁 佐々木病院

住所 〒939-8073 富山県富山市大町1番地  
電話 (076)425-2111 / FAX (076)425-2112  
ホームページ <http://www.sasakihp.or.jp/>

精神科デイケア・精神科デイナイトケア・精神科ショートケア

## アンダンテ

電話 (076)423-2114(直通)

指定障がい福祉サービス事業所

## フィールド・ラベンダー

住所 〒939-8073 富山県富山市大町3-4  
電話 (076)495-1555 / FAX (076)495-1666  
ホームページ <http://www.field-lavender.net/>